



藩政時代に出羽と陸奥を結ぶ交通の要衝として栄えた山中七ヶ宿街道の七つの宿場町の一つである「滑津の宿」は、現在でも街道筋にどっしどとした寄せ棟造りの本陣跡をはじめ、かやぶき屋根の家並みがあり、当時を偲ぶ姿を残している。

七ヶ宿町ではこの歴史ある町並みと旧街道を再現することにより、訪れる人々が歴史にふれながら自然に親しめるよう石畳、木橋など旧街道の再現整備を実施しているほか、環境の保全にも努めている。また、七ヶ宿街道の歴史にふれる機会をつくることを目的に、イベント「わらじで歩こう七ヶ宿」も毎年八月に開催されている。

## データボード⑯

- ① 宮城県七ヶ宿町滑津
- ② 延長200m、幅員3m
- ③ 石畳歩道、木橋など
- ④ 自然石
- ⑤ わらじで歩こう七ヶ宿(8月)